



な
ぎ
ちょう
奈 義 町

12月議会

議会だより



奈義の美しい滝 シリーズ 奥の院滝 (岩屋山・滝神社)

137号

平成28年2月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 12月議会で決まったこと 2 ~ 3 ページ
- 一般質問（9名） 4 ~ 12 ページ
- 委員会・組合議会報告 13 ページ
- 臨時議会・受けた視察・研修・編集後記 14 ページ

補正予算に 付帯決議

児及び児童生徒の医療費、
対象事務が広がる可能性があり、情報が漏れるリスクが広がるので、
心身障害者医療給付等に関する事務が対象となりますが、
議員からは、今後、

この条例は、マイナンバーを使用する場合の事務手続きにはどんなものがあるのかを特定するものです。乳児及び児童生徒の医療費給付に関する事務、心身障害者医療給付等に関する事務が対象となります。

- 新たに推進委員の定数を定める条例です。定数は8名です。

議員から、農業委員会の仕事が、農業分野から離れていく心配があるのではないか、との指摘がありました。

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

條例

余義町農業委員会の委員
ありました。

12月定例議会は、12月8日から18日まで、11日間行われ、**条例**8件、**補正予算**4件、**その他**5件、意見書1件、決議1件、陳情1件、計20件を審議、決定。9名の議員が一般質問を行いました。



1月20日開催の農業委員会定例会

▼主な歳入は、特定防衛施設調整交付金が300万円、農地集積事業県補助金が380万円などです。

▼主な歳入は、特定防衛施設調整交付金が1300万円、農地集積事業県補助金が380万円などです。

○奈義町税条例等の一部を改正する条例

○奈義町税条例等の一部を 改正する条例

(以上、全員一致)

○一般会計補正予算

《補正予算》

及び奈義町介護保険条例の一部を改正する条例
(以上、全員一致)

○過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例

○奈義町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
例の一部を改正する条例
新たに、農地利用最適化推進委員の報酬を定めるものです。月額1万6千円となりました。
ごみを中継場所に持ち込んだ場合の、処理費用を定めるものです。

12月 定例議会

平成27年
12月8日～18日

塩分測定器の 議会が

- 一般会計補正予算についての付帯決議
- 農業振興費として、機構集積協力金、3800万円などです。
- 議員から、塩分測定器の各戸無料配布について、無駄ではないか、等の意見が出され、議会としては、「各戸無料配布については、慎重に検討するよう求めめる」主旨の付帯決議を行った上で可決しました。
- その他、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算について、審議し決定しました。
- （以上、全員一致）

『決議』

「国会決議に背くTPP 『大筋合意』に強く異議 を表明する意見書」 を賛成多数で可決

この意見書は、●TPPの「大筋合意」について、農家から不安の声が出ている、●米、牛・豚肉などの重要5品目は守る、と謳った国会決議に背くものである、●TPPが発効すれば、日本の食料自給率はいっそう低下する、●農林業を基幹産業とする奈義町にとって看過できない、等と述べて、強い異議を表明しています。

これに対し、桑村議員より、「大筋合意」は国際公約であり、決定事項である。今さらどうにもできない。TPPは悪いことばかりでなく良い点もある、等の反対の意見が出されました。提案者の森藤議員は、今後、政府の調印、国会の批准が残っており、まだ、決まったわけではなく、今が重要である。TPPは、国民皆保険制度を壊すなど、農業以外の分野でも問題が多い、と述べ賛同を呼びかけました。

採決の結果、賛成6、反対2、欠席1の賛成多数で可決されました。

（全員一致）

『その他』

○奈義町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

- 企業立地雇用促進事業などを追加・変更するものです。

○奈義町過疎地域自立促進市町村計画について

- この計画は、平成28年度から32年度までの計画について策定するものです。

議員から、津山市を中心とする定住自立圏

構想の問題点、新しい事業にはどんなものがあるか、等の質問が出されました。

○所管事務等の調査について
(以上、全員一致)

○津山圏域資源循環施設組合規約の変更について

- 事務所の移転に伴う住所の改正です。

○陳情撤回申出書について

- 以前、提出されたた、安保法案の策定中止を求める陳情について、法案が成立した段階で、趣旨が添わなくなつたので、撤回を求

託されました。
(全員一致)

○公的病院等に対する特別交付税制度利用による助成に関する要望

○この要望は、社会医療法人清風会(日本原病院)から提出されました。

『陳情』

町政のあり方を問う

一般質問に9議員



岡 立 議員

Q 障がい者の居場所作りは

A 関係者の協力を得て進めたい

質問
超一流の講師を呼んで子供たちに刺激を与えて

Q 町の特色ある教育に前進は大切なこと、計画を考えたい

質問
組織づくりはどうか。
答弁 町長 勝英自立支援協議会との連携を充実させることで対応したい。

特別にはないが、今後の活動の中で必要のある場面でしっかりと対応する。

質問
居場所づくりができないか。
答弁 町長 町の規模や状況により、現在町内には、居場所はできていない。関係者の方の協力をお願いし、場所の確保を進めていきたい。

はどうか。将来へのきっかけづくりのためにも、交流人口増加のためにも、一步前進できないか。
答弁 教育長 これまでもいくつか取り組んでいるが、

異文化にふれるのは大切なこと。超一流への取り組みは、決定はしていないが、奈義の子供達に特色ある教育の中で成長させるため、進めていきたい。



奈義独特の教育 3年生で体験・子ども歌舞伎



桑村 由和 議員

Q 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について伺う

A 6000人を維持し、活力と産業力を保つことが、目標

質問 介護保険料の増額やリスクはないのか。
答弁 町長 国の政策的な支援内容などが検



CCRCで、期待される支援ボランティア

質問 農業委員会改正法については、農地の集積と耕作放棄地の防止が目的。
答弁 町長 最適化推進委員について。農業委員は、担い手への農地利用を促進を行い、推進委員は、主に担当地域で現場活動を

※CCRC 第二の人生チャレンジ世代”を都市部などから受け入れ、活動的な生活を送ること。

質問 結婚推進について。
答弁 町長 結婚推進委員会の皆さんと協議し、予算を増やし効率的な結婚対策を図りたい。

質問 人口減少対策で重要な部分は、自衛隊隊員数の維持だが、どのように行うのか。
答弁 町長 陸上自衛隊日本原駐屯地充実期成会を作り、隊員削減がないように防衛省などに積極的に働きかけると共に、隊員の奈義町への移住・定住を推進したい。

質問 奈義町版*CCRCと受け入れ人数について。
答弁 町長 第二のチャレンジ世代の移住を受け入れ、本町が抱える課題の解決や産業の創出、子供たちの学びなどに活かしていきたい。受け入れについては、年間10世帯程度を考えている。

質問 安全安心のまちづくりの中で、自主防災組織へ補助金を出してはどうか。
答弁 町長 国・県の補助事業を活用するなど活動支援を検討する必要がある。

質問 総合戦略の中で環境保全と太陽光発電施設をどう考えるか。
答弁 町長 法令を遵守した計画のもと、安全対策を図り事業を進め、近隣住民の理解の上、事業を進めて頂きたい。

質問 売電終了後の施設について。
答弁 町長 次世代に本町の美しい景観を引き継ぐ責務は我々にあると考えている。今後3年間が勝負

討されており、その内容を加味しながら取り組んでいきたい。事業実施協定を締結するので、その中で事業者の責務と責任の所在を明確にし、開発協定の履行の保証及びその不履行の場合の措置について定め事業を進めてもらう。

質問 募集する農業委員と推進委員双方の、活動や情報交換など、密接な活動ができるようになりたい。

質問 農業委員と推進委員の関係と意思疎通について。
答弁 町長 農業委員と推進委員双方の、活動や情報交換など、密接な活動ができるようになりたい。

質問 農業委員と推進委員の関係と意思疎通について。
答弁 町長 農業委員と推進委員双方の、活動や情報交換など、密接な活動ができるようになりたい。

Q 耕作放棄地増加の抑制は



安藤 榮一 議員

A 地域ぐるみで取り組む



広がる耕作放棄地

質問
一級町道・馬場線
(中島西地内) 沿いの馬場

Q 歩道新設の進捗
状況は

A 計画的に整備する

質問
農家の高齢化や後継者不足などを背景に耕作放棄地が増加の一途である。拡大抑制への取り組みは。

答弁
町長

今後も国や県の補助制度を活用し、地域ぐるみで耕作放棄地の拡大抑制に向けた取り組みを一層進めていきたい。

質問
川敷を利用する歩道の新設について、その後どのような形になっているのか。

答弁
町長
河川敷を利用した歩道新設は困難であるが、通学路の安全確保は重要である。関係機関が連携して、児童・生徒が安全に通学ができるよう安全点検を行うとともに、優先度、危険度などを考慮し、計画的に整備していきたい。

Q 通学路の美化活動を
A 実施に取り組む

質問
*ESDの視点から通学路や学校周辺の主要道路沿いの清掃活動、クリーン作戦を行ってはどうか。
活動は、教育上、極めて大切な観点である。この取り組みをFOS少年団や子供会等の関係団体を通して働きかけをしていく。

答弁
教育長
通学路

質問
中学校の耐震診断の結果で、耐震補強が必要となつた。耐震化の推進は喫緊の課題であり、今後、どのように取り組んでいくのか。

答弁
教育長
県教育委員会など関係機関とも協議しつけていく。

Q 中学校の耐震化は
A 対応を検討する

※ESD (Education for Sustainable Development)
世界の環境、貧困、人権など様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。



建築後、約50年が経過した奈義中学校校舎



岡部 英生 議員

Q 国民健康保険会計は大丈夫か

A 平成28年度の国保税は据え置く

質問 健康保険会計の医療費が年々増加しているが要因は何か。また、平成28年度の国民健康保険税は増額になるのか。

答弁 町長 医療費の推移は、平成26年度と比較して3・7%増加している。主要な要因は、団塊の世代が65才以上となり、一般被保険者への移行により増加している。

平成28年度の国保税については、値上げをすると負担になるので、法定外の町費を投入し国保税を据え置く方向で検討している。

国民健康保険会計の医療費が年々増加しているが要因は何か。また、平成28年度の国民健康保険税は増額になるのか。



「これからの地域医療を語る」講演会

質問 平成26年の合計特殊出生率が2・81になつた。町の子育て支援対策が実

Q **A** **Q** **A** **Q** **A**

さらなる子育て支援、定住化対策に向けて安心して出産、子育てのできる環境を



全国一の出生率2.81を多くのマスコミの前で発表

質問 交通事故の減少を図るために歩道の整備、交差点の改良、信号機の設置などを実施し、歩行者、自転車、自動車が安心して通行できる道づくりを進めては。

答弁 町長 安心して暮らすには交通の安全確保は重要と考えている。町内の危険箇所の把握や要望をもとに対策を行っている。より安全性の高い道路環境整備を推進する考

後さらなる子育て支援、定住化対策は。結果である。今後も、子育て世帯が真に必要としている支援策を充実、拡充し、さらに安心して出産、

Q **A** **Q** **A** **Q** **A**

信号機の設置は安全性の高い道路環境整備を行ないたい。

子育てのできる環境の整備を行ないたい。

Q 防衛省に対する陳情活動は



中井 泰洋 議員

A 強力な要望活動を行っていく



質問 中期防衛力整備計画などにより、数年後、日本原駐屯地の部隊削減、人員削減が予想されているが、他自治体に負けないような陳情・要望活動をどのようにしていく予定か。

答弁 町長 日本原駐屯地の部隊削減・人員削減は奈義町民のみならず、県民全体の安全安心な生活環境の確保や、地域経済に大きく影響を及ぼすものである。

県知事を顧問、私を会長とし、陸上自衛隊日本原駐屯地充実期成会を設立したい。今後は防衛省をはじめ、国會議員や、関係省庁に対し、部隊増強、隊員確保に向けて、強力な要望活動を行っていく。

また、要望活動などでは、町民の方々の理解が必要であります、活発な応援もしていただきたい。

質問 ②奈義町版C C R Cは都会の人と田舎の人、双方にとって意識の上でかなりハーモルが高いように感じるが、このギャップをどのように埋めようと考えているのか。

③東京23区が特別区全国連携プロジェクトについては、奈義町の地域活性化を目指す上で誘客等に結びつく取り組みと考えられるので、詳細について調査・検討をしたい。

④これだけの創生総合戦略を行おうとすれば現在の体制ではかなり無理があり、役場職員がオーバーワークになつたり、パンクする可能性があるが、体制の改革等をする考えはないか。

Q 地方創生総合戦略の周知と役場の体制は、目標の共有を進め、組織体制を検討する

答弁 町長 ①周知徹底、連携プロジェクトについては、ダイジエスト版の配布や、講演会の開催などを検討し、目標などの共有を進めていきたい。

②C C R Cについて、協力・行動については、総合的に調査・分析を行うべく、検討を進めている。

③東京23区の特別区全国連携プロジェクトについては、奈義町の地域活性化を目指す上で誘客等に結びつく取り組みと考えられるので、詳細について調査・検討をしたい。

④役場内の体制については、今後、総合戦略の実施に当たって、しっかりと機能のできる課の新設など組織体制を検討したい。



Q 家畜衛生センターの今後は

A 廃炉の方向である

岡 親佐 議員

質問 家畜衛生センターの運営は今後どのようになるのか。

答弁 町長 今年度運営協議会総会において、今後のあり方検討会が設置され、存続か廃炉かなど検討が進められるが、廃炉の方向である。

質問 法を整備し、獣畜の焼却が出来ないか。 焼却が出来ない。 町長 他町村の利用もなく、奈義町だけの運営



集積が進む農地（中島西地内）



造成工事完了 太陽光発電用地（旧町樹園地）

質問 「人、農地プラン」と中間管理機構のつながりは

答弁 町長 「人、農地プラン」実現のための農地中間管理事業で

法を整備し、獣畜の運営は今後どのようになるのか。

焼却が出来ない。 町長 他町村の利用もなく、奈義町だけの運営

質問 「人、農地プラン」と中間管理機構のつながりは

答弁 町長 新規就農者は、水稲、畜産を合せ8名が就農している。農地の集積は着実に進んで、当事業に対する農業者の関心度が高い。

質問 「人、農地プラン」と中間管理機構のつながりは

答弁 町長 新規就農者は、水稲、畜産を合せ8名が就農している。農地の集積は着実に進んで、当事業に対する農業者の関心度が高い。

は負担が多すぎる。

まっている。

質問 大規模な太陽光発電が計画されている。環境問題など考慮されているか。

答弁 町長 それぞれ、関係法令に基づく許可要件を全てクリアしての事業実施となる。周辺の環境、台風、大雨などの災害による被害が発生しないような対策が講じられている。

質問 適切な環境配慮が必要

答弁 町長 各地区で「人、農地プラン」が策定され、事業の活用と担い手の農地の集積が効率的に進んでいる。新規就農者と農地の出し手、受け手の状況は。

Q 総合戦略・保育サービスの充実は



芦田一郎 議員

A 人口6000人の維持を中心進めること



子ども歌舞伎

- ・町内商店等の利用促進と店舗数の維持
- ・中小企業支援条例の制定等については、新たな産業創出につなげる産

質問 創生総合戦略について商工会と懇談

答弁 町長 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中の、中小企業等への支援では、4つの基本目標の中の1つにと明願いたい。

業構造や雇用力等の丁寧な調査・分析により取り組んでほしいが、多岐にわたるので、町民に分かりやすく説明願いたい。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中の、中小企業等への支援では、4つの基本目標の中の1つにと明願いたい。

イントといざなぎカードとの連携や、飲食店を紹介する町内マップの作成等により支援を行なっていく。また事業所、町民、商工会、行政が共通認識を持ち、中企業支援条例の制定を含め、さまざまな施策を検討する。

質問 幼児教育・環境の充実について

- ・快適な保育環境の整備
- ・家庭内育児の支援
- ・小学校低学年までの保育の一貫性の確保
- ・就学前教育の充実

等切れ目ない支援を行なうことにより、子育て世代の希望をかなえることになる

と思うが、総合戦略の基本的な考え方とは。

答弁 町長 快適な保育環境は、ハード面からも検討の必要がある。

家庭内教育の支援についても何らかの支援が必要と考えている。また、今後は保育、幼少、小中の連携を図って特色ある教育を推進していく。

らえ、仕事をつくり安心して働けることを掲げている。

6千人の人口を維持するためには、就労の場や、中小企業等の維持発展が不可欠である。今まで、起業支援等をしてきたが、今後はウォーキングブル利用等による健康ボ



創生総合戦略について商工会と懇談



森藤 政憲 議員

Q 2・81の取り組みの推進は

A 継続できるよう努力

質問 合計特殊出生率が、全国トップレベルの、2・81となつた。この取り組みをいっそう進めるため、①高校生への就学支援金の増額、②家で子育てをしている世帯への支援、③学校給食費の無料化等の子育て支援策拡充。そして、町の賃貸住宅、分譲地整備、民間賃貸住宅への家賃補助など、住宅政策の次の対策をとつておく必要があると思うがどうか。

Q 国保税の値上げは避けよ

A 税は据え置き、値上げはさけたい

答弁 町長 高校生への支援金の拡充、家で子育てをしている世帯への支援は、前向きに考えたい。町の賃貸住宅、分譲地等も総合的な立場で考えたい。その他は、難しい。

高校生への支援金の拡充、家で子育てをしている世帯への支援は、前向きに考えたい。町の賃貸住宅、分譲地等も総合的な立場で考えたい。その他は、難しい。

質問 合計特殊出生率が、全国トップレベルの、2・81となつた。この取り組みをいっそう進めるため、①高校生への就学支援金の増額、②家で子育てをしている世帯への支援、③学校給食費の無料化等の子育て支援策拡充。そして、町の賃貸住宅、分譲地整備、民間賃貸住宅への家賃補助など、住宅政策の次の対策をとつておく必要があると思うがどうか。

Q 遊休地の活用、水の問題など無駄の見直しを考えたい

A 適切な方法を考えたい

答弁 町長 町民皆さんの状況を考えると、国保税は据え置くべきとされている。値上げは避けたい。



おいしいよ！学校給食

質問 町には保安林を除いて2町7反ほどの遊休地が存在する。また、使っていない水の料金まで支払っている広域水道企業団の水（いわゆる苦田ダムの水）問題、西原ダムの水など、今後、無駄をなくし活用に向けて検討する必要があると思うが、どうか。

Q 「サトイモ」、「菜の花米」の品質などの研究推進をめたい

A 今後、研究を進めたい

答弁 町長 活用計画がない土地や水の問題も、今後、適切な方法を考えていきたい。どうしても活用計画が見つからない場合は、売却も選択肢である。

質問 町には保安林を除いて2町7反ほどの遊休地が存在する。また、使っていない水の料金まで支払っている広域水道企業団の水（いわゆる苦田ダムの水）問題、西原ダムの水など、今後、無駄をなくし活用に向けて検討する必要があると思うが、どうか。

質問 財務省は、国立大学への交付金を減らし、その分を大学授業料に転嫁させる対策を取ろうとしている。これでは、大幅値上げとなり大変である。どう思うか。

答弁 町長 交付金を削減する前にやるべき事がある。授業料の値上げは、進学をあきらめる人が増え、得策ではない。

答弁 教育長 交付金の削減には反対。値上げは、決して得策ではない。

ついで、同様の研究がいると思うが、どうか。

質問 サトイモの研究は、薬事法の事もあるので、その辺もよく考え、進めていきたい。「菜の花米」は、観光の側面が主だが、品質などの調査研究も強化していきたい。

質問 町には保安林を除いて2町7反ほどの遊休地が存在する。また、使っていない水の料金まで支払っている広域水道企業団の水（いわゆる苦田ダムの水）問題、西原ダムの水など、今後、無駄をなくし活用に向けて検討する必要があると思うが、どうか。

質問 薬事法の事もあるので、その辺もよく考え、進めていきたい。「菜の花米」は、観光の側面が主だが、品質などの調査研究も強化していきたい。

Q 夏まつりなどのプログラム、予算の見直しは



鷹取 渡 議員

A 実行委員会で検討する



楽しい夏まつりに

町民運動会のプログラムの中学生リレーを廃止したり工夫している。少子高齢化が進んでおり、各年令層が無理をせず気軽に参加し、楽しい体力づくりや交流ができる種目を考えていきたい。

答弁 教育長

質問 「ふるさと夏まつりや、「那岐山麓の恵みまつり」は、町の予算と、企業・商店・JAからの貴重な協賛金で実施されている。もう少し町の予算を増やし、人気のある花火の8寸玉の打ち上げを増やしてはどうか。また、今年なかつた「よさこいソーラン」を復活させてはどうか。

町民運動会の年代別リレーの選手選びに苦労されてい

か。「ふるさと夏まつりや、「那岐山麓の恵みまつり」は、町の予算と、企業・商店・JAからの貴重な協賛金で実施されている。もう少し町の予算を増やし、人気のある花火の8寸玉の打ち上げを増やしてはどうか。また、今年なかつた「よさこいソーラン」を復活させてはどうか。

答弁 町長 今は交付金の増額は考えていないが、協賛金が少なく、運営がきびしい場合、記念すべき節目等には検討する。よさこいソーランは、幼稚園児や小学生を夜間にどうか、など意見があり見合せた。予算などを含めて実行委員会でよく検討していただきたい。

質問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や6000人の人口を維持する人口計画など大きく重要な事業が始まる。町民皆さんも協力はして下さるとは思うが、

Q 新しい町づくり計画に今の役場の体制は十分か A 新しい組織体制も検討したい



プログラムの見直しは？（町民運動会）

町の強力なリーダーシップが発揮されなくてはならない。役場職員は今でも手いっぱいであり、残業も見受けられる。現在の体制では少し不安に思うがどうか。

答弁 町長 人口6000人維持と町の活性化に向けたこれらの戦略を進めるにあたり、職員への負担を考慮し、新しい組織体制や、各課横断的なプロジェクトチームの設置や、職員採用、業務の外部委託も視野に入れて進めていく。

保育園の移設、新築の考えは…

委員会報告

総務常任委員会

12月3日、所管事務の調査を行なつた。主な質疑は次の通り。

問…医療費の多い
内訳は。

答 … 一番消化器系の疾患、二番新生物（癌）、三番精神疾患となつてゐる。

問 … インターネット料金の値下げは難しいか。

答 … 加入率の伸びにより、なかなか

問 .. 合計特殊出生率の増えた要素の分析が必要であり、アンケートを取つては。答 .. 町民の要望に応えて、生みや



保育園視察（12月8日）

答..今後の実施計画について、色々なメンバーで検討していく。

問..太陽光発電に係る固定資産税で他の自治体との比較は。

答..他町村は様々で、奈義町は安くなっている。

問..指定ゴミ袋の販売店の手数料は。

答..ゴミ袋の手数料は10%

12月4日、委員会を開催し、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..保育園が狭くて使い勝手がよくないと聞くが。

答..旧中央幼稚園、チャイルドホール、なかよしホームをつないだもので不便な状況だ。

問..測量の委託料は落札率が低いようだが。

答..下限を設けたので、落札率は上っている。

問..上水道管の布設替えの予定は。

産業常任委員会

答..他町村は様々で、奈義町は安くなっている。
問..指定ゴミ袋の販売店の手数料は。

答 … 塩分計はどのようなものか。

答 … 電子体温計程度のもので、1個約2600円位である。

問 … 保育園の発表会の内容は。

答 … 人数が増えて部屋が狭くなり、参観日のような形で実施する。

答 … 26年度から35年度まで
問 .. 「山の駅」のお客様へ
の対応は。

答 .. おもてなしについては、
十分考えていく。

問 .. 「山の駅」の運営に指
定管理者は考えていない
か。

答 .. 民間委託とか指定管理
など検討する。

問 .. 農業委員の定数は11人
だが推進委員の定員は。
答 .. 全体で8人としている。

11月13日、定例会が開催され、平成26年度決算歳入59億4427万円、歳出51億6881万円、繰越額7億7546万円を認定した。また27年度予算に歳入・歳出、それぞれ2億8084万円を追加する補正予算を認定した。

勝田郡老人福祉施設組合

11月20日、定例会が開催され、平成26年度の決算歳入2億1357万円、歳出2億623万円、繰越額733万円を認定した。また平成27年度予算に歳入・歳出それぞれ165万円を減額する補正予算を承認した。

津山圏域資源循環施設組合議会

(芦田、鷹取議員)

北海道南幌町など 4町村が来町

子育て支援策等の研修が目的



西伊豆町議会の一行



農業委員会についての勉強会

11月24日、奈義町役場において勝田郡議会議員協議会研修会が開催されました。農林水産省経営局、阿辺一郎氏より『改正農業協同組合法について』、農林水産省中国四国農政局、家本覚司氏より『改正農業委員会法について』と題しての研修を受講しました。

東京大学名誉教授、大森彌氏による『人口減少時代と「地域創生」—地方議会・議員の課題—』と題しての講演と研修を熱心に受けました。議員全員が参加し、元衆議院法制局参考事、吉田利宏氏による『政策立案機能の強化・条例立案のポイント』、

(改正農協法等説明会)

11月24日、奈義町役場において勝田郡議会議員協議会研修会が開催されました。農林水産省経営局、阿辺一郎氏より『改

正農業協同組合法について』、農林水産省中国四

国農政局、家本覚司氏より『改正農業委員会法について』と題しての研修を受講しました。

長野県豊丘村議会

・10月26日 (8名)

・11月19日午前 (11名)

・目的 安全安心なまちづくりについて
(1)自主防災組織の設立・
育成

(2)防災備蓄倉庫と自家発電設備の整備

・(1)定住促進について
以上4町村から、奈義町へ行政視察に訪れました。

静岡県西伊豆町議会

・11月19日午前 (11名)

・目的
(2)子育て支援について
以上4町村から、奈義町へ行政視察に訪れました。

県、郡の研修

北海道南幌町議会

・11月9日 (4名)

・目的
(1)定住促進について
(2)子育て応援宣言について

岡山県町村議会 議員研修会

11月2日、県市町村振興センターにおいて町村議会議員研修会が開催され

ました。議員全員が参

加し、元衆議院法制局参考事、吉田利宏氏による

『政策立案機能の強化・

条例立案のポイント』、

(改正農協法等説明会)

11月2日、県市町村振興センターにおいて町村議会議員研修会が開催され

ました。議員全員が参

加し、元衆議院法制局参考事、吉田利宏氏による

『政策立案機能の強化・

条例立案のポイント』、

(改正農協法等説明会)

11月2日、県市町村振興センターにおいて町村議会議員研修会が開催され

ました。議員全員が参

加し、元衆議院法制局参考事、吉田利宏氏による

『政策立案機能の強化・

条例立案のポイント』、

(改正農協法等説明会)

勝田郡議員協議会 研修会

新年を迎え、議員一同、新たな気持ちで、

皆様と一緒に頑張ってまいります。(中井)

臨時議会報告

第3回臨時議会 10月23日

○土地取得特別会計(第2号)工事請負費など

830万円を組み替え。
(全員一致)

「奈義町人口ビジョン」

及び「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
(全員一致)

編集後記

【編集委員】

議長 小阪由和	副委員長 森藤泰洋	委員 岡安藤榮一
委員 中井政憲	委員 森藤政憲	委員 岡安藤榮一